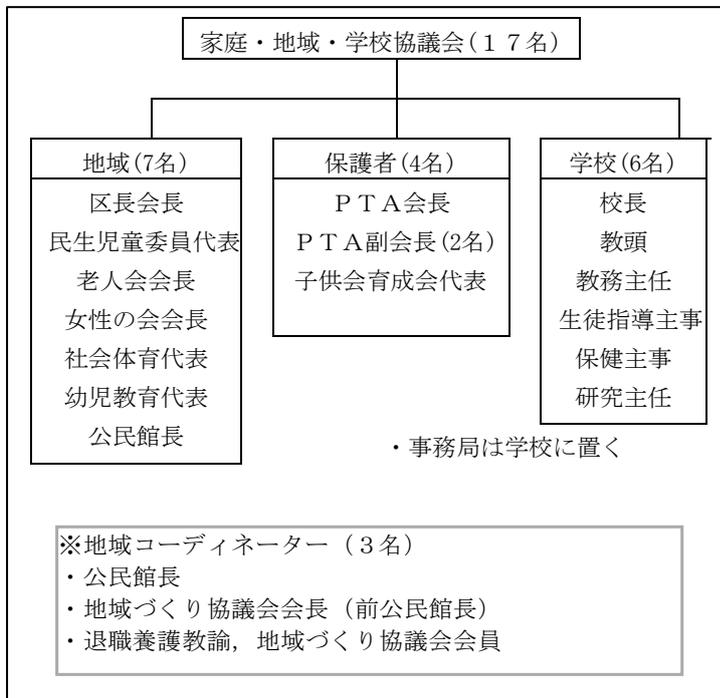


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

- ① 第1回協議会 5月21日(火)
  - ・趣旨説明, 活動方針
  - ・取組の現状
  - ・今後の取組の協議
- ② 第2回協議会 11月21日(木)
  - ・活動報告
  - ・前期の学校評価結果
  - ・今後の取組の協議
- ③ 第3回協議会 2月20日(木)
  - ・活動報告
  - ・後期の学校評価結果
  - ・次年度の取組の協議

### (3) 協議会における成果と課題

学校側から評価の取組と結果, 考察等について説明を行い, 分かりにくい点やそれぞれの立場からの評価に関連したご意見をいただいた。学校外の子どもたちの様子について教えていただくことができ, 有意義であった。あいさつについて, 委員の方からは概ね好評価をいただいているが, 保護者の意見としては地域ではまだ不十分という声があり, 地域と協力しながら改善に努めていかなければならない。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

校区にある梨畑, 梅畑や各地の田畑, 三十三間山からの水系などの豊かな自然を生かし, 地域の特産物や生き物と環境などについて学習することを通して, 地域の課題や未来, 地域に対して自分たちができることについて考える。

また, 地域にある保育施設・介護施設への訪問や公民館行事への参加を通して, 保育・介護の仕事の内容や, 地域の少子高齢化の現状, 地域の人々の活性化への取組を知り, 地域が抱える課題とその解決策について考える。

### (2) 活動の実際

#### ① みそみ地区の宝探し(3, 4年生)

- ・地域の特産品についての学習として, 3年生は梨畑, 4年生は梅畑での袋かけや収穫などの作業体験を行った。梅は梅ジュースや梅干しに加工, 梨は梨ジャムに加工する作業も行った。梅干しと梨ジャムは広告やラベルを自作し, 公民館行事で販売活動を行った。



② 若狭町の生き物調査(5年生)

- ・ハスプロジェクト会員の方と海浜自然センターの方にお世話になり、成願寺川での生き物調査を行った。5～7月の各月に1回ずつ調査を行い、生息状況の変化について調査した。海浜自然センターにも赴き、さらに広い範囲の生き物の生息状況についても学習した。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・公民館長…地域の産業に携わっておられる方を紹介していただき、地域の特産物に関する学習を効果的に進める上で助けていただいた。みそみ文化の森(公民館まつり)での梅干し、梨ジャムなどの販売にもご協力いただいた。
- ・地域づくり協議会会長…地域の特産物である梅に関する学習でご指導いただいたり、学習に関連する人材や場所を紹介していただいたりした。また、学習に必要な道具を貸していただいた。
- ・元養護教諭…福祉の学習において、保育所との調整役になっていただいた。梅の加工方法や材料についてもご指導いただいた。

(4) 特に工夫した事項

- ・地域の方の協力をいただきながら、特産物の栽培・収穫や加工、販売体験を実際に行う事を通して、梨栽培・梅栽培の現状や課題を実感できるようにした。
- ・成願寺川で継続して生き物調査を行い、変化を捉えられるようにした。地域の事に詳しい方に直接教わる事で専門的な知識も得られた。

(5) 成果と課題

地域の産業に関する学習、地域の環境に関する学習、地域の福祉に関する学習はこれまでから取り組んできた内容である。3年間補助事業として取り組むことで、さまざまな地域の方に広くお世話になることができ、つながりが深くなっていった。予算を有効に活用し、バスを利用して活動範囲を広げる事ができた。また、これまで学習にあるとよいと思われていた消耗品類を購入したり、謝礼をお渡ししたりすることができ、有益だった。3年間継続して取組を進める事で、これまでは費用の関係から取り組むことが難しかったことに取り組めたり、新たな人材を発掘して学習を深めたりすることができた。このつながりを生かし、今後の活動をさらに有意義なものにしていきたい。

課題としては、3年間補助金を受けて活動できていたことに継続して取り組むためには費用を捻出しなければいけないということが挙げられる。費用がなければ全く取り組めないわけではないが、制限がかかってしまうのは否めない。町の関連する課などと連携したり、他の補助事業を活用したりしながら、地域に根ざした学習を進めていけるようにしなければいけない。また、地域でお世話になった方々が高齢化しているという現状もある。初年度に学習でお世話になった方に、翌年度はお世話になれなかったという事があった。このようなことは、地域全体が抱える問題として子どもたちと地域が一緒になって考えていくべき大きな課題であろう。